

会議の名称	第3回茅野市総合計画審議会		
開催日時	令和元年12月3日(火) 18時30分～19時00分		
開催場所	茅野市役所 8階 大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	<p>○議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 答申案の検討について 資料7</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> <p>○議事録</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>前回貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。当審議会は基本構想に係る進捗管理を担当している。基本構想を進める上で、緊急度の高い課題について優先順位を付け、答申としたい。素案については、正副会長と事務局で整理した。慎重審議をお願いしたい。</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 答申案の作成について 資料7</p> <p>・・・資料7に基づき答申素案について説明・・・</p> <p>・・・事前に集約した委員意見について説明・・・</p> <p>事前の集約意見については、修正として反映していきたい。</p> <p>いくつか補足意見をいただきたい。項目4産業の部分で農業についてのご意見があった。</p> <p>項目の中で農業に触れた部分が多かったが、市内で耕作地が占める面積は大きい。担い手不足で農地をなくせばよいということではなく、その土地をどうするか見渡せないと将来を描くことができない。その部分は簡単に結論が出るものではないが、重要な事項として追記してはどうかとの提案である。</p> <p>重要事項として追記する。</p> <p>また、防災対策については、原点に立ち返るといった表現の提案をいただいた。補足願いたい。</p> <p>現在COP25も開催されており、気候変動や地球温暖化により、今まで</p>		
会長			
会長 事務局			
会長			
委員			
会長			
委員			

	<p>の枠組みを超えたところで、災害が起きており、茅野市でも発生する可能性がある。今までの枠組みもしっかりチェックしつつ、それを超えたところでの枠組みを考えていく必要がある。</p>
会長	<p>原点とは、これまでの「自助」「共助」「公助」の視点とは異なるものか。</p>
委員	<p>また違った考えのものである。</p>
会長	<p>また杉本委員からはいくつかご意見をいただいた。内容を見る中で、各部署と情報共有し、それぞれの個別計画で対応することも考えている。事務局として、庁内対応の考えはあるか。</p>
事務局	<p>それぞれの項目について、問題提起や質問の項目をいただいた。担当の部署へつなげ、対応できる部分は対応していきたい。</p>
会長	<p>そのような捉え方でよいか。</p>
委員	<p>指摘した事項を追記してほしいものではなく、こういった視点で議論を重ねれば、より良い内容になるとの思いで書いた。委員の中にもそれぞれの視点で議論をしたいという希望もあったのではないか。そういった投げかけも含めて記した。答申に義務的に追記を願うものではなく取扱いは会長に委任するものである。</p>
会長	<p>基本構想を策定する際に、各分野の意見を聞く中で、こういった内容も議論いただいてきた。それらを集約する中で計画は策定されている経過もある。</p> <p>ご指摘いただいた視点については、今後の進捗管理の上で参考としていきたい。</p>
会長	<p>他に意見はあるか ＝意見なし＝</p>
会長	<p>それでは、この方針で答申の提出を行いたい。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <p>本日ご審議いただいた内容を基に、字句修正等を行い成案としたい。市長への答申については12月16日に正副会長から提出いただく予定。各委員におかれては、正副会長に一任いただきたいと思いますと思うがどうか。</p>
会長	<p>答申の提出は正副会長に一任いただけるということでよいか。 ＝異議なし＝</p>
会長	<p>そのように対応したい。</p>
副市長	<p>この審議会では、茅野市のまちづくりの方向性についても、大きな考えの中で方向性が間違っていないかチェックいただいたため、全体の把握が難しかったと思慮する。</p>

ある程度の時間経過があれば、当初の願いからの「ずれ」が顕著となったり、社会環境変化が明らかになったりと、修正の議論も想定されるが、開始1年目では、ほぼ当初描いたラインで、「ずれ」がない状態の中でご議論いただいたため、大変だったと思う。

しかし、今年議論したことが、来年度のフォーマットになっていく。いただいたご意見や視点は、今後も注視していき、将来的に基本構想の修正などの議論を経て、まちづくりの方向性を変えていくことも想定される。

今年はその議論の基礎が出来た。熱心なご議論をいただき、あらためて感謝申し上げます。

6 閉会

各分野からご参加いただき、様々なご意見をいただいた。議論し尽くせなかった部分もあろうかと思うが、答申の5項目の中で皆様のご意見は必ず生きてくると思う。

副会長

以上